

平成30年度事業計画書

I 肢体不自由児の福祉の増進を図る事業を実施する。

1 肢体不自由児への理解と療育思想を広く県民に普及する事業

(1) 「友情の絵はがき」「愛の絵はがき」「ゆーむとあーむのクリアファイル」等事業（継続）

予 算 1,000,000円 (29年度予算 1,032,000円)

社会福祉法人日本肢体不自由児協会及び各道府県肢体不自由児協会の主唱で、毎年11月中旬から1か月間全国一円に展開される「手足の不自由な子どもを育てる運動」の一環として、肢体不自由児・者に対する理解及び療育思想の一層の普及促進を目的に寄付を募り、寄付協力者に対して「友情の絵はがき」「愛の絵はがき」「ゆーむとあーむのクリアファイル」「ゆーむとあーむの2 way フォルダ」を頒布し、肢体不自由児・者への理解及び療育思想の普及啓発を図るとともに、事業財源の確保に努める。

頒布予定数

友情の絵はがき	725 組 (29 年度実績	744 組、28 年度実績 721 組)
愛の絵はがき	725 組 ("	715 組、 " 985 組)
クリアファイル	3,950 枚 ("	4,175 枚、 " 4,293 枚)
2way フォルダ	2,600 枚 ("	2,787 枚、 " 3,574 枚)

【 収入 : 30年度予算額 1,243,500円 29年度予算額 1,376,000円 】

(2) 「愛のタオル」事業（継続）

予 算 7,400,000円 (29年度予算 7,364,000円)

肢体不自由児に対する理解及び愛護療育思想の一層の普及啓発を図ることを目的に寄付を募り、寄付協力者に対して「愛のタオル」を頒布し、肢体不自由児への理解と療育思想の促進を図るとともに、事業財源の確保に努める。

※平成29年度愛のタオル「トッキッキ」の在庫が8,150本あるため、1口150円で頒布する予定。

※平成29年度愛のタオル「水玉」の在庫634本及び「ネコ」の在庫400本に関しては、在庫が残り少ないため、当協会60周年を踏まえ、各父母の会や特別支援学校に日頃の感謝を込めて無償で頒布することとする。

頒布予定数 69,000 本 (29 年度実績 72,416 本、28 年度実績 69,010 本)

【 収入 : 30年度予算額 12,930,000円 29年度予算額 13,200,000円 】

(3) 肢体不自由児・者の書、絵画、写真などの作品展開催事業（「ふれ愛作品展」の開催事業（継続））

予 算 270,000円 (29年度予算 315,000円)

全国の「肢体不自由児・者の美術展」、「肢体不自由児のデジタル写真展」の入賞作品や県内の肢体不自由児を中心とした障害児・者の書、絵画、写真等の作品を展示し、応募対象者の生きがいの増進と一般の人々の肢体不自由児・者に対する理解と療育思想の促進を図る。

【新潟ふれ愛プラザ会場（新潟市）】

期 日：7月下旬～8月上旬（予定）

展示場所：新潟ふれ愛プラザ（予定）

展示作品：第36回「肢体不自由児・者の美術展」入選作品及び県内在住の入賞者の作品

肢体不自由児・者のデジタル写真展入選作品

県内在住の肢体不自由児・者の作品

【NEXT 2 1アトリウム会場（新潟市）】

期 日：8月下旬～9月上旬（予定）

展示場所：NEXT 2 1アトリウム（1F入口ホール）（予定）

展示作品：第36回「肢体不自由児・者の美術展」入選作品及び県内在住の入賞者の作品

肢体不自由児・者のデジタル写真展入選作品

県内在住の肢体不自由児・者の作品

(4) 援護活動等が顕著な者を表彰する事業（肢体不自由児援護表彰事業（継続））

予 算 120,000円 (29年度予算 156,000円)

肢体不自由児に対する援護、療育思想の普及啓発を図り、援護活動を推進するため、肢体不自由児の友を助け、励ましながら共に学んだ児童・生徒・学級、肢体不自由児の療育・指導に顕著な功績のあった者、肢体不自由児の保護者として他の模範となる努力や研鑽の著しい者及び、障害にもめげず勉学や療育に励み、他の児童、生徒の模範となる肢体不自由児等を表彰する。

被表彰者 10人程度
表彰式 2～3月頃（予定）
場 所 新潟市内

2 肢体不自由児に対して奨学金を給付する事業（肢体不自由高等学校奨学生採用事業（継続））

予 算 920,000円（29年度予算 614,000円）

一般の高等学校に在学している肢体不自由児の就学活動を支援するため、奨学金を無償で給付し、勉学の意欲を助長するとともに、肢体不自由児の健全な育成と家庭への援助を図る。

※例年10名×6万円の予算を組んでいたが、応募が増えたため採用予定人数を増やした。

採用予定人員 15人（29年度実績 14人）
奨 学 金 1人60,000円（29年度と同額）
振込手数料等 20,000円（29年度実績 9,002円）

3 肢体不自由児の生活向上のための講習会等の開催事業

(1) 肢体不自由児夏期訓練事業（継続）

予 算 351,000円（29年度予算 351,000円）

夏期期間を利用して肢体不自由児及びその保護者に集団生活の機会を与え、子ども同士の心のふれあいや親同士の親睦と正しい療育知識の取得の指導訓練を行う。

新潟県肢体不自由児者父母の会連合会に事業を委託する。

委託費 350,000円
通信運搬費等 1,000円
開 催 10か所で開催予定

(2) ボランティア講習会開催事業（休止）

予 算 0円（29年度予算 64,000円）

肢体不自由児等への理解の促進や、自立と社会参加の促進を進めるため、肢体不自由児を支援するボランティアの輪を広げることを目的として、大学短大及び高等学校の学生に周知しての講習会を実施していたが、近年参加人数が集まりにくいことや、

保護者団体による講師の選出が難しく、今年度より休止したい。

(3) 「ふれあいの集い」開催事業（継続）

予 算 353,000円（29年度予算 462,000円）

在宅の肢体不自由児と地域の小・中学生の交流を通じて障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の理念の普及を図るとともに、肢体不自由児への理解と心のバリアフリーの育成を図ることを目的にスポーツ教室やレクリエーション等を行う。（車椅子バスケットボールの大会や障害者スキー教室を開催予定）

※例年、夏と冬に車椅子バスケットを開催していたが、冬の時期に遠征が入るため、平成29年度より冬の大会は行わないこととした。

開 催	年 2 回（車椅子バスケットボール1回、スキー教室1回）
参加予定者	各 50 人程度（ボランティア、介助者含む）
開催場所	選定中

(4) 肢体不自由児休日等支援事業（継続）

予 算 150,000円（29年度予算 223,000円）

在宅の肢体不自由児が休日や長期休暇期間において、自主性・社会性等を培う場を提供し、有意義な休日を送れるよう、大学生などのボランティアが企画・運営するレクリエーションを開催し、在宅の肢体不自由児を支援する。併せて、保護者に対して、介護からの解放等による疲労の回復や社会参加の促進を図る。

※例年、予算を前払いしているが、10万円程返金があるため、前払い予算を減額した。

開催回数	年 6 回（29 年度 6 回）
会 場	県立東新潟特別支援学校、北地区コミュニティセンター、 新潟ふれ愛プラザ など

4 肢体不自由児に生活の意欲と活力を与える活動、団体への助成事業

(1) 肢体不自由児を激励するイベントに助成する事業（肢体不自由児激励事業（継続））

予 算 379,000円（29年度予算 453,000円）

肢体不自由児の生活に意欲と活力を与えることを目的に、保護者団体が行う各種イベント等の事業に対し助成を行い、その活性化を図る。

交付予定 10 団体 (29 年度実績 9 団体)
1 団体当たり 37,000 円以内 (29 年度と同額)
振込手数料等 9,000 円 (29 年度実績 3,189 円)

(2) 学生ボランティアサークルに助成する事業(学生ボランティアサークル助成事業 (継続))

予 算 255,000円 (29年度予算 255,000円)

主に肢体不自由児を対象にボランティアで支援活動を行っている学生ボランティアサークルに対し活動費の助成を行い、肢体不自由児の援護の活性化を図るとともに、学生ボランティアサークルの強化を図る。

交付予定 5 サークル (29 年度実績 5 サークル)
1 サークル当たり 50,000 円以内 (29 年度と同額)
振込手数料等 5,000 円 (29 年度実績 1,440 円)

(3) 障害者スポーツ参加促進事業

予算合計 1,516,000円 (29年度予算 (補正後) 1,397,000円)

ア スポーツ大会観戦等に助成する事業

予 算 10,000円 (29年度予算 10,000円)

障害のある者とその介護者等にアルビレックス新潟のサッカー観戦チケットを無償で配布し、スポーツへの関心を育み、スポーツに対する意欲の促進や障害者の積極的な社会参加を促進する。

イ スポーツ用品等購入に助成する事業

予 算 1,506,000円 (29 年度予算 1,387,000円)

障害者が利用可能なスポーツ施設(社会福祉施設を含む)に対して、肢体不自由児・者が参加資格のあるスポーツに係る用具の購入費用に助成を行い、障害者スポーツの啓発・普及を図るとともに、障害者スポーツへの参加促進を図る。

交付予定 15 団体 (29 年度実績 14 団体)
1 団体当たり 100,000 円以内 (29 年度予算 1 団体当たり 100,000 円)

(4) 肢体不自由児関係団体支援事業 (継続)

予 算 220,000円 (29年度予算 262,000円)

心身障害者の福祉の増進のため活動を行っている、日本筋ジストロフィー協会新潟県支部等に対して活動費等の助成を行い、団体の活動強化、育成強化を図ることによ

り、肢体不自由児への支援を促進する。

また、新潟県立東新潟特別支援学校でPTA大会が開催されるため、大会費用として5万円の助成を行う。

また、社会福祉法人日本肢体不自由児協会から車いす寄贈先の募集があった場合、関係施設等へ希望を取り、車いすを寄贈する。

助成額	(社)日本筋ジストロフィー協会新潟県支部	150,000円(29年度と同額)
助成額	新潟県立東新潟特別支援学校	50,000円
振込手数料等		20,000円

(5) 社会参加交流体験研修事業(継続)

予 算 61,000円 (29年度予算 136,000円)

新潟県肢体不自由児者父母の会連合会が、肢体不自由児者の社会参加促進、社会交流の向上を目的に行う研修会に対して助成し、社会参加、社会交流の一層の向上を図る。

※参加者の昼食代を助成対象から外したため、減額している。

開催回数	年1回
会 場	選定中(29年度「柏崎市総合福祉センター」)
助成額	60,000円(29年度助成額45,151円)
振込手数料等	1,000円

II 役員会等

- 1 監事会 監事会は5月に開催し、決算の監査を行うほか、評議員会に提出すべき議案及び書類について監査する。
- 2 理事会 5月に決算、3月に予算を審議する通常理事会のほか、必要に応じ随時開催する。
- 3 評議員会 5月に決算審議の定時評議員会、3月に予算審議の臨時評議員会を開催するほか、役員の選任など必要に応じ随時開催する。

Ⅲ その他法人会計に関わる事業

(1) 公益財団法人新潟県肢体不自由児協会HPの管理（継続）

予 算 102,000円 (29年度予算 100,000円)

当協会の HP を随時更新し、事業内容の周知に努めるとともに各種事業の参加促進及び愛護療育思想の普及に努める。

URL : <http://www.shinshikyo.org/>

メールアドレス : sinsikyou@r3.dion.ne.jp

(2) 公益財団法人新潟県肢体不自由児協会60周年事業

予 算 250,000円 (29年度予算 0円)

ア パンフレット作成事業

(予算 200,000円 (29年度予算 0円))

当協会の60周年を踏まえ、当協会の事業を改めて周知することを目的に、パンフレットを作成し、愛のタオル及び絵はがき等の頒布依頼に同封する。

パンフレット印刷及びデザイン代 200,000円

印刷予定枚数 5,000部 (デザイン料は印刷代に含む)

(平成26年度パンフレット作成時 A4サイズ4面×7,000部@14 = 140,184円)

イ 愛のタオル無償配布事業

(予算 50,000円 (平成29年度予算 0円))

日頃の感謝の意を込めて、県内の父母の会(10団体)及び県内の特別支援学校(27校)に平成29年度愛のタオル在庫1,034本を1団体につき約30本無償で送付する。

37団体×宅急便送料@1,000 = 37,000円